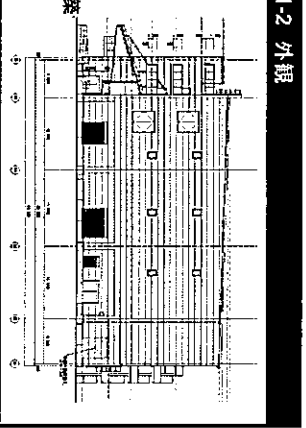


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価でエネルギー: CASBEE建築(新築)標準, CASBEE建築(新築)標準, CASBEE建築(新築)標準 使用評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

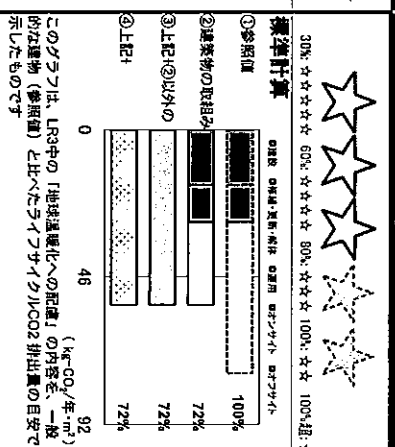
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フジコ株式会社親向け 関東工場	階数	地上5階
建設地	加須市麦倉	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火指定なし	平均居住人員	70人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,800時間/年(推定値)
建物用途	事務所・工場	評価の実施日	2019年3月29日
竣工年	2020年8月	作成者	三菱ケミカルエンジニアリング 第一級建築士 確認日
敷地面積	(仮括) 5790.00 m ²	確認日	2019年3月29日
建築面積	2911 m ²	確認者	三菱ケミカルエンジニアリング 第一級建築士
延床面積	7,354 m ²		



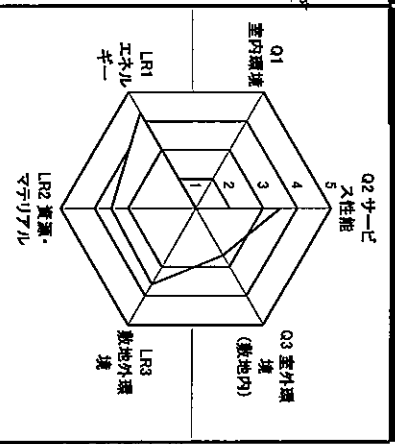
2-1 建築物の環境効率(BEE)ラフスケッチ&チャート



2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q1 室内環境	Q2 サービエ性能	Q3 室外環境(敷地内)	Q0 エネルギー
1 音環境 0.0	1 機能性 3.3	1 生物環境 3.0	1 地球温暖化 3.0
2 N.A.	2 N.A.	2 耐久性 3.7	2 地域環境 2.0
3 N.A.	3 耐用性 3.5	3 対気性 3.0	3 地味環境 3.0
4 N.A.	4 対気性 3.7	4 まちなみ 3.0	4 周辺環境 3.0
5 音環境 0.0	5 機能性 3.3	5 生物環境 3.0	5 地味環境 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.3	LR2のスコア = 3.5	LR3のスコア = 3.6
1 自然エネルギー 3.0	1 水資源 4.0	1 地球温暖化 4.0
2 太陽エネルギー 3.0	2 非再生材料の汚染物質 4.0	2 地域環境 4.0
3 省エネルギー 3.0	3 再生材料の汚染物質 4.0	3 周辺環境 4.0
4 省エネルギー 3.0	4 再生材料の汚染物質 4.0	4 周辺環境 4.0
5 省エネルギー 3.0	5 再生材料の汚染物質 4.0	5 周辺環境 4.0

3 設計上の配慮事項

井水利用によって水資源を保護し、緑地を開けることにより良好な景観を形成している。断熱材の強化により外皮性能を上げるなど温熱環境にも配慮している。

その他

Q1 室内環境	Q2 サービエ性能	Q3 室外環境(敷地内)
評価しない	階高を高く設定し、夏長さを小さくすることにより空間にゆとりをもたせ建物の対気性に配慮している。	敷地内の既存樹木を保存し、生物環境の保全や地域景観の継承に配慮している。
LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	自動水栓や、省水型機器を用いるなど水資源を保護している。	運用時のライフサイクルCO ₂ 排出率を抑え、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO₂とは、建築物の新材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命年、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
フジッコ株式会社 煮豆新工場 煮豆新工場建設工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(2.1)

スコアシート 実施設計段階

配属項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の性能評価						3.0
Q1 室内環境						
1 音環境		-	-		-	-
1.1 室内騒音レベル		-	-		-	-
1.2 通音		-	-		-	-
1 開口部遮音性能		-	-		-	-
2 界床遮音性能		-	-		-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20		-	-
1.3 吸音		-	-		-	-
2 温熱環境						
2.1 室温制御		-	-		-	-
1 室温		-	-		-	-
2 外皮性能		-	-		-	-
3 リーン制御性能		-	-		-	-
2.2 湿度制御		-	-		-	-
2.3 空調方式		-	-		-	-
3 光・視環境						
3.1 屋光利用		-	-		-	-
1 屋光率		3.0	0.20		-	-
2 方位別開口		3.0	0.20		-	-
3 屋光利用設備		3.0	0.20		-	-
3.2 グレア対策		-	-		-	-
1 屋光制御		-	-		-	-
3.3 照度		-	-		-	-
3.4 照明制御		-	-		-	-
4 空気環境						
4.1 発生源対策		-	-		-	-
1 化学汚染物質		-	-		-	-
4.2 換気		-	-		-	-
1 換気量		-	-		-	-
2 自然換気性能		-	-		-	-
3 取り入れ外気への配慮		-	-		-	-
4.3 運用管理		-	-		-	-
1 CO ₂ の監視		-	-		-	-
2 喫煙の制御		-	-		-	-
Q2 サステナビリティ						3.5
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ		-	-		-	-
1 広さ・収納性		-	-		-	-
2 高度情報通信設備対応		-	-		-	-
3 ノイズフリー計画		-	-		-	-
1.2 心理性・快適性		-	-		-	-
1 広さ感・景観		-	-		-	-
2 リフレッシュスペース		-	-		-	-
3 内装計画		-	-		-	-
1.3 維持管理		-	-		-	-
1 維持管理に配慮した設計		-	-		-	-
2 維持管理用機能の確保		-	-		-	-
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.3	0.50		-	3.3
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.30		-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0	0.20		-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.10		-	-
4 空調換気システムの更新必要間隔		4.0	0.10		-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0	0.20		-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	-
2.4 信頼性		3.4	0.20		-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	-
2 給排水・衛生設備		5.0	0.20		-	-
3 電気設備		3.0	0.20		-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	-
金庫新熱サイクルボッチ屋(ナール) 30年 床: 遮床 20年/層・天井: 金属/ナール 40年 塵芥排出ダクトにカルバニウム燐板ダクトを採用 給排水の主要用途2種が6以上で、Eは不使用						
前水型扉扉の採用、配管系統の区分、井水の利用、受水槽に蛇口を 設置						

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	平均階高 3.9m以上	3.7	0.50	-	3.7	
		2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.1以上0.3未満	5.0 4.0 3.0	0.50 0.40 0.30	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	1 空間配管の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕可能	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕可能	5.0	0.10	-	-	
		3 電気配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕可能	5.0	0.10	-	-	
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	パンプアップ設備のための設備機器スナージを計画	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性		4.0	0.20	-	-	
		3 電気配線の更新性		4.0	0.20	-	-	
	G3 屋外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出		-	0.56	-	2.6	
		2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.30	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.40	-	2.0		
R1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制	1 自然エネルギー利用	[BE] [BE]m] = 0.55	3.0	0.13	-	3.0	
		2 自然エネルギー利用		5.0	0.53	-	5.0	
R2 資源・エネルギー	1 水資源確保	1.1 雨水利用・雑排水等の利用	雨水(活性汚濁処理)を全面的に利用	3.5	0.25	-	3.5	
		1.2 雨水利用・雑排水等の利用	雨水(活性汚濁処理)を全面的に利用	3.5	0.25	-	3.5	
	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減	運用管理の組織化、責任者の指名、エネルギー消費量計画を建築主へ提出	3.5	1.00	-	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.50	-	-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含まない材料の使用		4.0	0.50	-	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.30	-	-	
		1 消火剤		3.2	0.60	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.22	-	-	
	R3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮	2.1 材料使用量の削減	断水コア、自動水栓、省水型機器を主要水栓の過半に採用	4.2	0.20	-	4.2
			2.2 既存建築躯体等の継続使用	断水コア、自動水栓、省水型機器を主要水栓の過半に採用	4.0	0.40	-	-
2 地球環境への配慮		2.1 大気汚染防止	井水(活性汚濁処理)を全面的に利用	4.4	0.80	-	-	
		2.2 温暖化対策への負荷抑制	井水(活性汚濁処理)を全面的に利用	5.0	0.70	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1 有害物質を含まない材料の使用	ODP=0、GWP=1以下の発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.50	-	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.50	-	-	
		1 消火剤		4.1	0.33	-	3.6	
		2 発泡剤(断熱材等)		3.6	0.33	-	3.6	
3 周辺環境への配慮		3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1 騒音	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-
			2 振動		3.0	0.50	-	-
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	1 風害の抑制	ゴミの積積・量の推計、ゴミ庫の設置、分別回収に配慮、減容化・減量化の計画	3.0	0.25	-	-	
		2 砂塵の抑制		3.0	0.25	-	-	
		3 日照阻害の抑制		3.0	0.25	-	-	
	3.3 光害の抑制	1 照明器具の遮光		3.0	0.40	-	-	
		2 照明器具の遮光		3.0	0.70	-	-	
		3 照明器具の遮光		3.0	0.30	-	-	
	R4 エネルギー	1 水資源確保	1.1 雨水利用・雑排水等の利用	チェアリスの項目の過半を満たし、広告物照明を行っていない	4.4	0.20	-	-
			1.2 雨水利用・雑排水等の利用		5.0	0.70	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		2.1 材料使用量の削減		3.0	0.30	-	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.30	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.30	-	-	
		1 消火剤		3.0	0.30	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.30	-	-	
R5 敷地外環境		1 地球温暖化への配慮	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.30	-	-
			2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.30	-	-
	2 地球環境への配慮	2.1 大気汚染防止		3.0	0.30	-	-	
		2.2 温暖化対策への負荷抑制		3.0	0.30	-	-	
	3 周辺環境への配慮	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.30	-	-	
		1 消火剤		3.0	0.30	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェア

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	フジッコ株式会社鹿沼工場 鹿沼工場 食品新工場建設工事	BEE	1.8	BEEランク	★★★★
------	-----------------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア				
4.1	+	3.0	=	7.1	

重点項目の各スコアの合計点					
かんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	
-	-	-	-	-	-

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 4.1

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.1
運用時のライフサイクルCO2排出率を抑え、地球温暖化への配慮をしている。			

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 3.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

敷地内の既存樹木を保存し、生物環境の保全に配慮している。

: 入力欄